平成2９年度第２回大阪府障がい者自立支援協議会地域支援推進部会

精神障がい者地域移行推進ワーキンググループ議事概要

日　 時：平成３０年２月１３日（火）午後２時～

場　 所：大阪赤十字会館4階402号室

出席委員: 小林委員、島田委員､高田委員､辻井委員（精神ＷＧ長）､堤委員､林委員、

山本（勝）委員､山本（深）委員､山本（幸）委員〔五十音順〕

　　　　 田中オブザーバー

【報　告】長期入院精神障がい者退院促進事業

　　　　○ 事務局より資料1に沿って報告

【議題１】退院患者の状況について

○ 事務局より資料2に沿って説明

【議題２】精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る「市町村単位の

協議の場」について

○ 事務局より資料３に沿って説明

♢委員意見等

* + 示された退院患者の状況からは、家族のところに戻れなかったら退院できない状況にあったのが、家族の受け入れが無くても退院することができる状況が少しずつ出てきていることが見て取れる。
	+ 市町村の協議の場においては、府が基本的なデータ整理のためのフォーマットを作成し、府内の状況を整理していく必要があるのではないか。
	+ 市町村の協議の場のコアメンバーは市町村が独自に決めるものではあるが、当事者の代表を入れることを示しておくことは大事ではないか。
	+ 様々な機関から出てきて協議をするということが非常に大事なので、その協議の場を進めていくうえでは、医療機関職員が出席するための診療報酬上の配慮なり新たなプロセスを国に考えてもらう必要があるのではないか。
	+ 部会の中でやるべきことは地域移行だけではなくて、市民への啓発という、精神障がいに対する理解促進も、どの市であってもやっていただくべきことであるし、そのことは間接的に地域移行を進めていくことにもなる。
	+ 市町村の会議を、3障がい合同の部会でもよいとすれば、精神の話題ができなくなるのではないかと危惧する。
	+ 市町村では、職員が事務職ばかりで、基幹相談支援センターなどの専門職がいるところに事業委託をしており、結局市の職員も削られるというがんじがらめの状態となっている。

　【その他】

　　　　○事務局より説明。

本日いただいたご意見を踏まえ事務局で整理をさせていただく。できるだけ早期に市町村にお示しをしたいと考えている。次回ワーキングについては、３０年5月ごろに開催予定。後日日程調整させていただく。